

# 国際関係学教育における対話・体験型授業



毛利勝彦

# 国際関係学のアクティブ・ラーニング

1. 国際関係史における文脈
2. 国際関係学理論における位置づけ
3. 国際関係学方法論と3つの教授法
  - a. 政策ディベート
  - b. ケース・メソッド教授法
  - c. サービス・ラーニング
4. 統合型活用に向けて

# 国際関係史における文脈

- 冷戦の終焉
  - 民主化 + 持続可能な開発 = 参加型開発
- 研究におけるインパクト
  - アクション・リサーチ
- 教育におけるインパクト
  - アクティブ・ラーニング

# 国際関係学理論における位置づけ

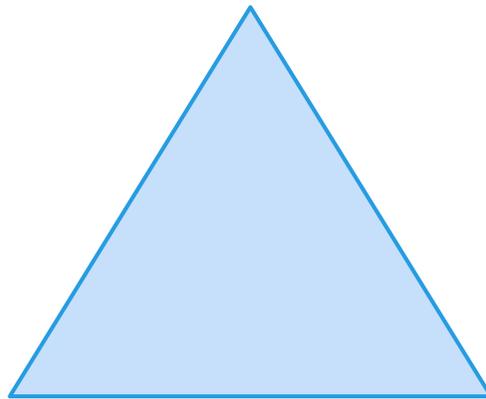
- 知識伝授中心の一方向講義とリアリズム
- 学習者中心のゼミ形式演習とリベラリズム

「授業をすれば私語、ゼミをすれば死語（沈黙）」  
→ リベラリズムの革命とリアリズムの反革命

- 双方向型協調学習とコンストラクティヴィズム

# 国際関係学方法論と3つの教授法

意味解釈法



演繹法

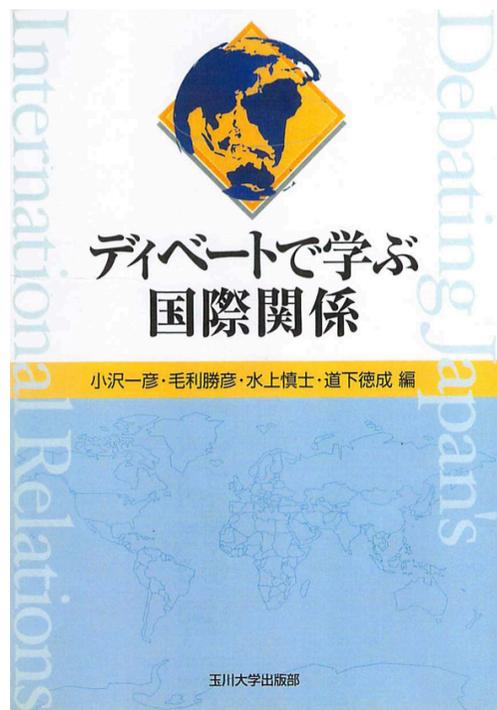
帰納法

ダメな教師は喋るだけ。  
良い教師は説明する。  
優秀な教師はモデルを見せる。  
偉大な教師は学生の心に火をつける。

*The mediocre teacher tells.  
The good teacher explains.  
The superior teacher demonstrates.  
The great teacher inspires.*

*-William Arthur Ward*

# 政策ディベート



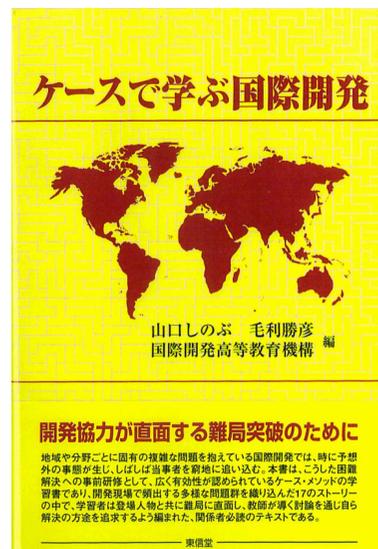
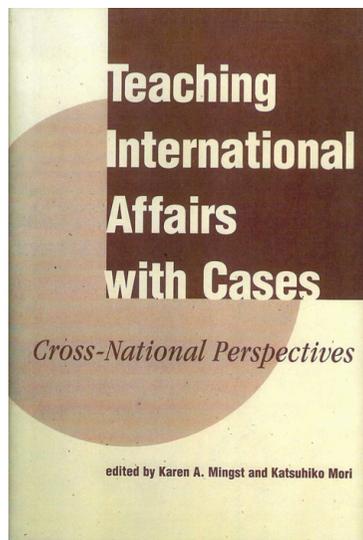
戦争は、武力で相手を破壊する。  
ゲームは、決められたルールに沿って相手を出し抜く。  
ディベートは、言葉で相手の認識を転覆させる。

- *Anatol Rapoport*

[http://ocw.icu.ac.jp/ge/ges009\\_2013w/](http://ocw.icu.ac.jp/ge/ges009_2013w/)  
ICU一般教育科目「国際関係ディベート」  
[http://ocw.icu.ac.jp/ge/ges009\\_2012w/](http://ocw.icu.ac.jp/ge/ges009_2012w/)  
ダイジェスト版

# ケース・メソッド教授法

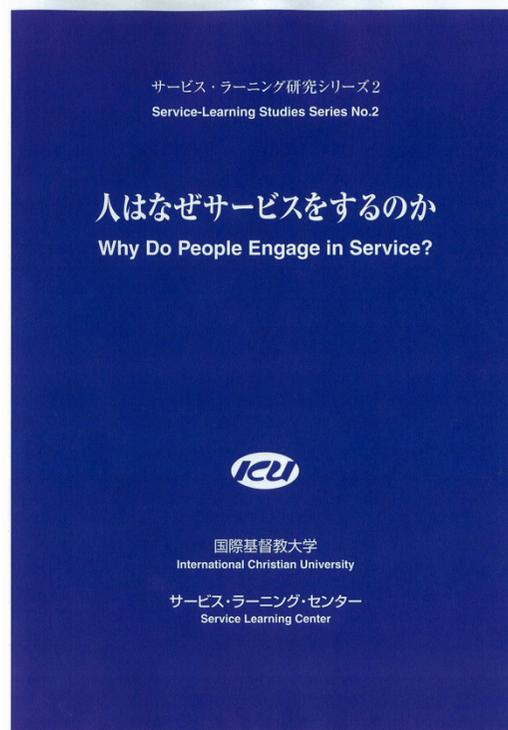
“Of what is this an instance?” —James Rosenau



写真提供：NHK

<http://web.icu.ac.jp/www2/20110502.html>  
NHK Eテレ「白熱教室JAPAN」でのケース討論

# サービス・ラーニング



国際関係は、物的環境や社会思潮だけでなく個人のイニシアティブを反映した歴史的出会いによって生まれる。—Robert Keohane

見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい。—Mahatma Gandhi



<http://web.icu.ac.jp/slc/>

国際基督教大学サービス・ラーニング・センター

# 統合的型活用に向けて

